

## 目次

<b>1</b>	<b>同志社を支えた人々</b>	<b>1</b>	<b>7</b>	<b>戦前の大学～大学の誕生</b>	<b>21</b>
1.1	W.T. セイヴォリー (W.T.Savory)	1	7.1	東京大学の誕生	21
1.2	H.S. テイラー (H.S.Taylor)	1	7.2	帝国大学の誕生	21
1.3	A. ハーディー (Alpheus Hardy)	1	7.3	帝国大学以外の大学の誕生	21
1.4	J.H. シーリー (Julius Hawley Seelye)	2	<b>8</b>	<b>新島襄と大隈重信</b>	<b>22</b>
1.5	新島八重 (山本八重)	2	<b>9</b>	<b>関関同立</b>	<b>22</b>
1.6	山本覚馬	2	9.1	関西学院	22
1.7	J.D. デイヴィス (Jerome Dean Davis)	3	9.2	関西大学	22
1.8	D.W. ラーネッド (Dwight Whitney Learned)	3	9.3	立命館大学	22
1.9	J.N. ハリス (J.N.Harris)	4			
1.10	B.W. クラーク (B.W.Clarke)	4			
1.11	W.M. ヴォーリズ (William Merrell Vories)	4			
<b>2</b>	<b>新島襄出生からの同志社の現在まで</b>	<b>5</b>			
2.1	安中藩と安中藩における新島家	5			
2.2	アメリカン・ボードと 同志社が京都に設立された理由	5			
2.3	新島襄の墓	5			
<b>3</b>	<b>同志社の格言</b>	<b>9</b>			
<b>4</b>	<b>キリスト教の教派</b>	<b>9</b>			
4.1	カトリック教会 (Roman Catholic Church)	9			
4.2	プロテスタント教会 (Protestant Church)	9			
4.3	東方正教会 (Eastern Orthodox Church)	10			
<b>5</b>	<b>学校法人同志社</b>	<b>10</b>			
5.1	法人部	10			
5.2	大学	10			
5.3	女子大学	11			
5.4	高等学校・中学校・幼稚園	11			
5.5	新島学園	11			
5.6	同志社東京アカデミー	11			
<b>6</b>	<b>同志社の今</b>	<b>11</b>			
6.1	今出川キャンパス	11			
6.2	京田辺キャンパス	12			
6.3	工学部	13			
6.3.1	工学部の歴史・沿革	13			
6.4	データで見る同志社	13			
6.5	同志社のOBを知る	14			
6.5.1	政治家	14			
6.5.2	スポーツ界	14			
6.5.3	芸能界	14			
6.5.4	その他	14			
6.6	知識工学科	15			

## 第2回 同志社ゼミ

ゼミ担当者 : 森 隆史, 釘井 睦和, 上村 祐子  
 指導院生 : 小野 景子, 吉田 昌太  
 開催日 : 2002年5月24日

ゼミ内容: 本ゼミでは, 同志社大学に身を置いているものとして同志社に関する深い知識を持ち, 同志社が今に至るまで, 特に我々の所属する工学部の歴史, そして現在の同志社を知り, 同志社人としての自覚を持つとともに, 他大学について学び社会に出てから出会うであろう人々とのふれあいに役立てることを目的とする。

### 1 同志社を支えた人々

#### 1.1 W.T. セイヴォリー (W.T.Savory)

ニコライに密出国の援助を断られた新島襄は, 福士卯之吉からアメリカ船ベルリン号のWTセイヴォリー船長を紹介された。2日後に新島は福士の手引きで夜半, 同船に乗りこむことに成功した。船長は新島の熱意に押されて, 幕府が日本人の海外渡航を禁止していることを知りながら, 新島を上海まで運んだが, そのことがのちに船会社に露見し, 解雇された。

新島がボストンに着いた直後, セイヴォリーは新島を訪ね, 自分が解雇されたことには一切触れずに, 新島の無事を喜んだ。新島は2度目の渡米のおり, セイヴォリーを故郷のセーラム (マサチューセッツ州) に訪ね, 往時の礼を改めて述べた。

Fig. 1 は, セイヴォリーの写真である。



Fig. 1 W.T. セイヴォリー

#### 1.2 H.S. テイラー (H.S.Taylor)

ワイルドローヴァー号の船長。上海からボストンまで新島襄を運んだ。テイラーは同船の船主, Aハーディーと同郷 (マサチューセッツ州チャタム) のよしみでハーディー商会に雇用されていた。テイラーは船中では新島 (七五三太) を Joe と呼んでわが子のように可愛がり, 聖

書を与え, また英語や航海術を教えた。ハーディーを紹介したのもテイラーである。渡米後, 新島は夏休みをテイラーの実家 (チャタム) で過ごすことが多かった。

テイラーは両親の金婚式の記念に, 47人の親族の写真を入れた組み写真を両親に贈っているが, その中心にはテイラー夫妻に挟まれて, 新島の顔写真がある (Fig. 2)。実子扱いである。テイラーがボストン港で事故死したさい, 新島は夫人を慰めるためにボストンに急行。さらには親族に対して, 入信を勧める熱烈な伝道の手紙を送ってまいる。



Fig. 2 テイラー夫妻に挟まれた新島襄の写真

#### 1.3 A. ハーディー (Alpheus Hardy)

新島襄が「実の親以上」に慕ったボストンの実業家。ワイルドローヴァー (Wild Rover) 号 (Fig. 3) がハーディー商会の所有であったため, ハーディーは転がりこんできた新島をいわば「養子」とした。その契機は「脱国の理由書」を読み感激したためであった。

ハーディーは自分が果たせなかった牧師になる夢を新島に託した。理事をしていた母校のフィリップスアカデミー<sup>1</sup>に4人の息子同様に新島も送りこんだ。ハーディーは, 新島がその後, 進学したアーモスト大学<sup>2</sup>やアンドーヴァー神学校の理事でもあった。さらにアメリカン・ボー

<sup>1</sup>1778年にマサチューセッツ州アンドーヴァーにS. フィリップスジュニアが創設した全寮制の中等教育機関。

<sup>2</sup>1821年創設のアメリカ屈指の私立の名門大学。所在はマサチューセッツ州西部のアーモスト。



Fig. 3 ワイルド・ローヴァー号

ドの有力会員であり、後には運営委員会議長となった。在米中、さらには帰国後の新島の生活費はほとんどハーディーが出費した。

Fig. 4 は、ハーディーの写真である。



Fig. 4 A. ハーディー

#### 1.4 J.H. シーリー (Julius Hawley Seelye)

オランダ改革派<sup>3</sup>の牧師、教育者。アーモスト大学 (Fig. 5) を卒業後、ドイツに留学し、哲学を学んだ。のちアーモスト大学で道徳哲学の教授、さらに総長や連邦議会議員を務める。寮でリューマチに苦しむ新島襄を家庭に引き取って面倒を見るなど、家族ぐるみで彼を暖かく受け入れた。新島には夫人のエリザベスは「アメリカの母」であり、息子(ウイリー)と娘(ベッシーとアニー)も新島によくなつた。



Fig. 5 アーモスト大学

新島は終生、シーリーに全幅の信頼と敬愛の念とを抱

<sup>3</sup>16世紀スイス・オランダで改革者ジョン・カルビン (John Calvin) が立ち上がり、宗教改革を行った。彼はキリスト教信仰の内容を表した「キリスト教綱要」を書き、後世、宗教改革の完成者としての栄誉を得ることになる。

き続けた。一方のシーリーも、新島の人物評を問われて「ゴールドにメッキはできない」と答えた。ちなみにシーリーは新島の帰国前の1872年に来日し、東京で新島民治に面会している。

Fig. 6 は、シーリーの写真である。



Fig. 6 J.H. シーリー

#### 1.5 新島八重 (山本八重)

父山本権八、母さくの三女として、1845 (弘化2) 年11月3日若松城下に生まれた。山本覚馬の妹。八重は男勝りな性格であった。

兄覚馬が京都府顧問となったとき、覚馬は全盲であったため八重も京都へ向かう。京都で聖書や英語を学んだ。女紅場 [にょこうば]<sup>4</sup>新英学校の舎監兼教導試補をしていたこともある。

1875 (明治8) 年、八重は府知事榎村正直の仲人で当時学校設立のために同居人となっていた襄と婚約する。11月に女紅場を辞職し、翌1876 (明治9) 年1月2日、京都初の洗礼を受け (襄より受洗の記録もある)、1月3日に宣教師デイヴィスの司会で結婚式を挙げる。

日清戦争では篤志看護婦として傷病兵の看護にあたり勲七等、日露戦争では従軍し勲六等に選ばれる。

1932 (昭和7) 年7月15日、同志社のおばあ様と慕われた八重逝去。享年88歳であった。葬儀は同志社葬として営まれた。

Fig. 7 は、新島八重の写真である。

#### 1.6 山本覚馬

1828 (文政11) 年、山本権八の長男として会津に生まれる。

1862 (文久2) 年、京都守護職として京都に上る会津藩主松平容保 (かたもり) に同行した。1864 (元治1) 年7月18日、金門の変<sup>5</sup>が起り、覚馬も負傷、1、2年

<sup>4</sup>現国立第一女子高。当初華士族の娘だけが対象であったのだが、庶民の娘たちもすぐに入学を許され、英語、書道、和洋算、裁縫、諸礼などを学び、八重は養蚕を教えていた。寄宿生は80余名、修業期間は3年。

<sup>5</sup>京都守護総督一橋慶喜が、長州藩へ京都からの退去を命じたことに怒った長州兵が夜襲撃を掛けた事件。



Fig. 7 新島八重

で全盲となる。

その後、一度会津に戻って静養していた覚馬は再び京都に呼び戻される。1868年（慶應4）1月27日の鳥羽伏見の戦いの最中、覚馬は薩摩兵に捕らえられ、薩摩藩邸の牢に繋がれることとなった。

牢から出された山本覚馬は、岩倉具視などの目に止まり、軍務官役所への出仕を命ぜられる。彼は1869（明治2）年5月の日本初の柳池小学校開設を皮切りに、博覧会の開設、女学校女紅場の開設、伏見製鉄所の開設など革新的な事業に乗り出す。初代京都府知事になる榎村正直の顧問格として京都復興にあたった。京都府議会の初代議長に任命され、政治的な手腕を発揮する。さらにキリスト教学校を創ろうとしていた新島襄を知り、みずから所有の土地（現今出川校地）を安く提供し、キリスト教学校設立を強力に支援する。

1892（明治25）年、64歳でこの世を去る。

Fig. 8 は山本覚馬の写真である。



Fig. 8 山本覚馬

### 1.7 J.D. デイヴィス (Jerome Dean Davis)

アメリカン・ボードの宣教師。1871年12月1日に神戸に赴任し、宣教活動をしていたグリーンに協力する。1872年12月3日、デイヴィスを主任教師として神戸の八部郡宇治野村に英学教授所を開く。1874年、D.C.

グリーンが横浜で新約聖書翻訳事業のために神戸を去ったことで、デイヴィスは神戸教会の仮牧師に就任する。1875年、神戸教会を辞任し、同志社英学校開校当初からデイヴィスは教鞭をとる。当時の英学校の学生はわずか8名であり、その大半は神戸からデイヴィスに従い京都に来た元三田藩士であった。

襄と八重の結婚の際、八重はデイヴィスから洗礼を受け、デイヴィスの司会で結婚式を行った。

Fig. 9 は、デイヴィスの写真、Fig. 10 は京田辺校地にあるデイヴィス記念館の写真である。



Fig. 9 J.D. デイヴィス



Fig. 10 デイヴィス記念館

### 1.8 D.W. ラーネッド (Dwight Whitney Learned)

同志社の創設期に新島襄を助け、52年に渡り教鞭をとった外国人教師の1人で、同志社大学の第2代学長を務めた。学者としての評が高く、当時「熊本バンド<sup>6</sup>」のリーダー格であった小崎弘道<sup>7</sup>でさえ「私共が尊敬していたのはラーネッド教授のみ」と断言している。同志社の建物がレンガ造りで統一されているのも、建物の美観を重視したラーネッドの提案による。

ラーネッドは数学を得意としていたが、ギリシャ語や聖書、英語、政治学、経済学、自然科学と多岐に渡る科目を受け持った。また、日本の学生たちが運動や健康管

<sup>6</sup>1876（明治4）年1月、海老名弾正（だんじょう）、蔵原惟郭（これひろ）、徳富蘇峰、横井時雄など40人の生徒が熊本郊外の花岡山に集まりキリスト教に入信することを宣言した。

<sup>7</sup>1876（明治9）年、熊本で受洗、その後同志社に学ぶ。1890（明治23）年には同志社総長になる。



理に全く気を配らないことを心配し、「簡単な体操」を教えた。

京田辺校地にはラーネッドを記念して「ラーネッド記念図書館 (Fig. 11)」がある。



Fig. 11 ラーネッド記念図書館

Fig. 12 はラーネッドの写真である。



Fig. 12 D.W. ラーネッド

### 1.9 J.N. ハリス (J.N.Harris)

今出川のハリス理化学館 (Fig. 13) はハリスからの10万ドルという多額の寄付により1890 (明治23)年に設立された。



Fig. 13 今出川校地のハリス理化学館

### 1.10 B.W. クラーク (B.W.Clarke)

新島襄が逝去した1891年、米国のニューヨーク州ブルックリンのB.W. クラーク夫妻から、神学館の建築費として6000ドルの寄付が同志社になされた。これは23

歳という若さで早逝した夫妻の息子パイロン・ストーン・クラーク (Byron Stone Clarke) を記念して贈られたものであった。クラーク記念館は1892 (明治25)年11月に定礎がなされ、94年1月に献堂された。設計者は当時東京にいたドイツ人ゼールで、施工は京都の大工小島佐兵衛が担当しました。

建築費は寄付額を超過し、その分 (2568円67銭5厘) は重ねてクラーク夫人の寄付によった。1階の右側の壁面には、パイロン・クラークを記念した言葉“THE STUDY OF THE WORLD OF GOD WAS DEAR HIM” (聖書を学ぶことは彼が愛好してやまないものであった) と刻まれている。クラーク記念館 (旧神学館) は、1963年に新しい神学館が建築されるまで同志社の神学教育と研鑽の場として、その印象的な容姿とともに重要な働きを担ってきた。

Fig. 14 はクラーク記念館の写真である。

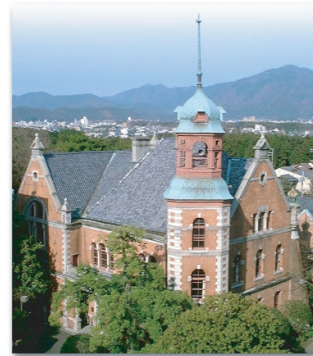


Fig. 14 クラーク記念館

### 1.11 W.M. ヴォーリス (William Merrell Vories)

同志社カレッジソングの作詞者。

ヴォーリスはアメリカ人宣教師で、1905 (明治38)年滋賀県立商業学校 (現：八幡商業高校) の英語教師として来日したが、本来の来日目的は布教活動であったために1907年、教職を解かれた。しかし、その後も近江八幡に留まり、1911 (明治44)年、現在の近江兄弟社の前身となるミッションを結成し、布教活動を強化していった。一方事業の方では、1910 (明治43)年に建築設計事務所を開き、数々の優れた建築物を残したほか、1920 (大正9)年に会社を設立し、家庭常備薬の輸入販売をはじめた。現在も多くの家庭で使われている。また福祉事業にも力を注ぎ、1918 (大正7)年に結核患者治療のために近江療養院 (現、ヴォーリス記念病院) を開設した。1941 (昭和16)年に帰化し夫人の姓を名乗って一柳米来留 (ひとつやなぎめれる) となった。私財を投じての地域の福祉と文化の向上のために尽くした功績をたたえられ、近江八幡名誉市民第1号となる。1964 (昭和39)年に永眠。

Fig. 15 はW.M. ヴォーリスの写真である。



Fig. 15 W.M. ヴォーリス

## 2 新島襄出生からの同志社の現在まで

新島襄出生からの同志社の現在までの年表を Table 1 に示す。

### 2.1 安中藩と安中藩における新島家

徳川四天王の一人井伊直政は家康の関東入りにあたり、前橋に居を構えた。安中領も前橋井伊領内であった。家康は近江佐和山に移った井伊本家を次男直孝に相続させ、直勝には旧領のうちの安中に3万石を与え、別家を立てさせた。これが安中藩の成立である。井伊直好が継ぎ、井伊家は三河西尾へ移る。

三河新城より、水野元綱が入り、元知が嗣ぐが、発狂して妻に切りつけ改易<sup>8</sup>される。

堀田正盛の三男堀田正俊が家綱付きの小姓<sup>9</sup>となって、春日局の引きで、次第に取り立てられ、諸侯に列し2万石で安中に入る。堀田正俊は幕閣中枢へ累進し、それに伴い、下総古河へ移る。のちに大老となる。

下総関宿(しもふさせきやど)藩の板倉重郷の弟重形が1万5千石で入る。重同が継いで、陸奥磐城へ。磐城から内藤政森が入り、三代継いで、三河挙母(ころも)へ。遠江相良より、板倉重同の子、板倉勝清が2万石で復領し、その後は板倉家が定着し、幕末に至る。

安中藩の江戸屋敷は約4000坪あった。その中に多くの藩士が暮らしており、新島家もその1つで約50坪の土地に住まっていた。

### 2.2 アメリカン・ボードと

同志社が京都に設立された理由

アメリカン・ボードは1810年に創立されたアメリカ合衆国最古のミッション・ボード(宣教師派遣団体)。当初は超教派<sup>10</sup>であったが、しだいに会衆派<sup>11</sup>教会色を強めた。最初の宣教師たちはセーラム(マサチューセッツ州)から1812年にインドに派遣されたが、日本への進出は他教派より出遅れた。そのため、D.C. グリーン

<sup>8</sup>江戸時代、武士に課した罰。平民に落とし、領地・家屋敷を取り上げた。

<sup>9</sup>昔、身分の高い人の身近に仕え、雑用をつとめた役(の少年)。

<sup>10</sup>一つの教派に属さない働きの総称。

<sup>11</sup>イギリス、アメリカを中心とするプロテスタント諸教派の一派。組合派ともいう。

夫妻が1869年に来日したときには、京浜地方を避けて、宣教師の手薄な関西を活動領域に選んだ。このミッションの「準宣教師」である新島襄が同志社を関西(京都)に設立した背景には、こうしたミッションの来日事情と、同志社を京都に誘致した京都府顧問の山本覚馬の存在が大きい。

このミッションならびにウーマンズボード(女性宣教師派遣団体)から同志社に送りこまれた宣教師はJ.D. デイヴィス、D.W. ラーネッドを始めとして数十人にのぼる。初期の校地やレンガ造りの校舎はラットランドで得た資金を始めとして、主としてアメリカン・ボードの資金で賄われた。

### 2.3 新島襄の墓

若王子神社脇から山道を登ること20分の若王子山山頂にある。葬儀は明治23年1月27日、翌24年には勝海舟の筆による碑銘を刻んだ墓碑が建てられた。その後事故によりその墓碑は失われ、現在の墓碑は新島襄ゆかりの地でもあるアメリカのヴァモンド州ラットランド<sup>12</sup>産の花崗岩のもの。この地は京都市の共葬墓地だが、同志社ゆかりの故人、そしてキリスト教徒の墓が多くみられる。Fig. 16は、新島の墓である。



Fig. 16 校祖 新島襄の墓

新島の墓前では、毎年創立記念日である11月29日と新島が永眠した1月23日に校祖墓参が行われている。新島の墓のある若王子山山頂へは、まず京都駅から5系統、あるいは京阪丸太町駅から204系統のバスで東天王町の向かう。そこからFig. 17に示す熊野若王子神社に向かい、山道を20分ほど登ると到着する。



Fig. 17 東天王町から熊野若王子神社へ

<sup>12</sup>新島はここで開かれていたアメリカンボードで講演し、多額の寄付金を得た

Table 1 英学校設立以降の同志社の年表

年月日	事柄
1843(天保14)年 1月14日	上州安中藩江戸屋敷で新島襄(幼名七五三太)誕生。
1864(元治元)年 6月14日	新島は国禁を犯して函館から米船ベルリン号で海外に脱出(21歳)
1865(慶応元)年 7月	ボストン着。
10月	上海で乗りかえたワイルド・ローヴァー号の船主 A.ハーディー夫妻の援助を受け、フィリップス・アカデミーに入学。
1866(慶応2)年 12月	アンドーヴァー神学校付属教会で洗礼を受ける。
1867(慶応3)年	フィリップス・アカデミー卒業。アーモスト大学入学(24歳)
1870(明治3)年	アーモスト大学卒業。アンドーヴァー神学校入学(27歳)
1872(明治5)年	岩倉具視使節団と会い、欧米教育制度調査の委嘱を受け、文部理事官田中不二麿に随行して欧米各国の教育制度を視察。
1874(明治7)年	アンドーヴァー神学校卒業。
10月	アメリカン・ボード海外伝道部の年次大会で、日本にキリスト教主義大学の設立を訴え、5,000ドルの寄付の約束を得る。
11月	横浜に帰着(31歳)
1875(明治8)年 11月29日	官許同志社英学校開校。京都府知事榎村正直、府顧問山本覚馬の賛同を得、開校。上京第22区寺町通丸太町上ル松蔭町18番地高松保実邸の半分を借りた校舎。教員は新島襄と J.D. デイヴィス。生徒8人であった。新島襄初代社長に就任。
1876(明治8)年 4月	D.W. ラーネッド着任。
9月	今出川校地へ移る。相国寺門前(薩摩藩邸跡)に校舎2棟と食堂1棟を建て寺町から移る。この時熊本洋学校に学んだ生徒(熊本バンド)が入学した。
10月	京都御苑内柳原邸に女子塾開設。
1877(明治10)年 4月	同志社分校女紅場を開設。
9月	女紅場を同志社女学校と改称。
1879(明治12)年 6月	英学校第1回卒業生(余科15人)を出す。
1880(明治13)年 4月13日	朝礼の際、新島は自分の掌を杖で打ち、自らを罰して生徒に訓す。「自責打掌」事件。
1883(明治16)年 2月	「同志社社則」を制定。
1884(明治17)年 5月	「明治専門学校設立旨趣」および「同志社英学校設立始末」を印刷頒布。
9月	同志社最初の煉瓦建築、彰栄館竣工(国の重要文化財)
1886(明治19)年 6月	礼拝堂(チャペル)竣工(国の重要文化財)
11月	書籍館(現、有終館)開館(国の重要文化財)
1888(明治21)年 11月	「同志社大学設立の旨意」を全国の主要な雑誌・新聞に発表。
1890(明治23)年 1月23日	新島襄永眠。募金運動中に前橋で倒れ、静養先の神奈川県大磯の旅館百足屋で、徳富蘇峰、小崎弘道らに10か条の遺言を託して永眠(47歳)。1月27日チャペル前で葬儀を営み、東山若王子山頂に葬る。墓碑銘は勝海舟筆。
7月	アメリカの実業家 J.N. ハリスの10万ドルの寄付によるハリス理化学館竣工。(国の重要文化財)
9月	ハリス理化学校開校。工学部の淵源といってよく、ハリス理化学館は、その中心施設であった。
1891(明治24)年 9月	政法学校開校。政治科と理財科を置き、法学部と経済学部の前身とみなされている。
次ページへ続く	

年月日	事柄	
1893(明治26)年 10月	同志社徽章(校章)を制定.	
1894(明治27)年 11月	クラーク神学館(現,クラーク記念館)の開館式挙行(国の重要文化財)	
1901(明治34)年	同志社女学校専門学部設置.	
1904(明治37)年 4月	専門学校開校.専門学校令による神学校と専門学校を開校し,政法学校,理化学学校などは廃止もしくは統合された.	
1909(明治42)年	同志社カレッジソング(W.M.ヴォーリス作詞)を制定.	
1912(明治45)年 4月	専門学校令による同志社大学(予科・神学部・政治経済部・英文科)ならびに女学校専門学部開校.	
1918(大正7)年	社長を総長と改称し,原田助が就任.	
1919(大正8)年 1月	D.W.ラーネッド第2代学長に就任.	
1920(大正9)年 4月	大学令による同志社大学の開校.文学部(神学科,英文学科,1927年に哲学科を増設),法学部(政治学科,経済学科,1923年に法律学科を増設),大学院および予科を設けた.	
1922(大正11)年 4月	専門学校の再編成.専門学校令による大学を専門学校として再編成し,神学部,英語師範部,高等商業部(商学部の前身),政治経済部の4部を置いた.	
1929(昭和4)年 4月	岩倉に高等商業部を移す.	
1930(昭和5)年 6月	女学校専門学部を女子専門学校と改称.	
	12月	専門学校高等商業部を高等商業学校と改称.
1940(昭和15)年 11月	「良心碑」を有終館前の中庭に建立.	
1943(昭和18)年 4月	「同志社中学」を「同志社中学校」(中学校令による)とする.	
1944(昭和19)年 4月	工業専門学校(電気通信科・機械科・化学工業科)開校.	
	10月	同志社大学研究所(現・人文科学研究所)設置.大学は法文学部(神・厚生・法経の3学科)1学部に縮小された.高等商業学校を経済専門学校と改称.
1946(昭和21)年 4月	学部の復旧.大学は元の2学部に復旧し(厚生学科は文学部社会学科になる),翌年神学科は学部になった.	
1947(昭和22)年 4月	新学制により新制同志社中学校,女子中学校が発足する.	
1948(昭和23)年 4月	新制大学開校.神・文・法・経済学部が開設.同志社高等学校,女子高等学校,商業高等学校(定時制)開設.	
1949(昭和24)年 4月	商学部と工学部を新設し,大学は6学部となる.女子大学(学芸学部)開校.	
1950(昭和25)年 4月	新制大学 大学院修士課程設置.神・文・法・経済・商各研究科を開設した.短期大学部(夜間2年制)設置(英語・商・経・工各学科).	
1951(昭和26)年 3月	大学教養学部(一般教育課程)を廃し,学部別縦割りとする.	
	7月	同志社香里中学校,同高等学校を開設.
1952(昭和27)年	同志社各専門学校を廃止.	
1953(昭和28)年 4月	大学院博士課程設置.	
1954(昭和29)年	短期大学部発展的に解消,2部(4年制)を設置(文・法・経済・商・工各学部)	
1955(昭和30)年 4月	工学研究科修士課程開設.	
1957(昭和32)年 3月	同志社大学研究所を「同志社大学人文科学研究所」と改称.	
1958(昭和33)年 3月	アメリカ研究所設置.	
1959(昭和34)年 4月	理工学研究所設置.	
1963(昭和38)年	同志社社史史料編集所設置.	
1965(昭和40)年 11月	大学会館開館.	
1973(昭和48)年 12月	大学新図書館竣工.	

次ページへ続く



年月日	事柄
1974(昭和49)年 11月	新町別館(音楽演劇総合練習場)開館。
1975(昭和50)年 4月	創立100周年記念事業を行う。
9月	計算機センター発足。
1976(昭和51)年 10月	光塩館(法・経研究室)竣工。
1980(昭和55)年 4月	国際高等学校開校。
1982(昭和57)年 12月	徳照館(文学部研究室・事務室)竣工。
1985(昭和60)年 1月	田辺校地の起工式をおこなって建設に着手。
1986(昭和61)年 4月	田辺校地開校。全学部第1部1・2年次生の授業が開始。文学研究科社会福祉学専攻博士課程(後期課程),国文学専攻博士課程(後期課程)開設。
5月	女子大学短期大学部開校。
1988(昭和63)年 4月	文学研究科美学および芸術学専攻修士課程開設。国際中学校開校。
9月	新島記念講堂(礼拝堂)竣工。
1990(平成2)年	新島襄永眠100周年行事を行う。
1991(平成3)年 4月	アメリカ研究科修士課程開設。学術情報センター発足。
1993(平成5)年	新島襄生誕150年記念行事を行う。
4月	言語文化教育研究センター設置。宗教センターをキリスト教文化センターに改称。文学研究科教育学専攻修士課程,同社会学専攻修士課程,およびアメリカ研究科アメリカ研究専攻博士課程(後期課程)開設。
1994(平成6)年 3月	田辺校地理化学館ほか11棟(工学部棟)および紫苑館,恵道館竣工。
4月	工学部知識工学科,機能分子工学科,物質化学工学科を新設。また機械工学科を機械システム工学科に,機械工学第二学科をエネルギー機械工学科に学科名変更。工学部および工学研究科,理工学研究所を田辺校地に統合移転。
1995(平成7)年 4月	総合政策科学研究科修士課程開設。
1996(平成8)年 4月	商学研究科「専門職コース」内に「ベンチャービジネス・プログラム」を開設。経済学研究科応用経済学専攻に「高度専門職コース」を開設。文学研究科美学および芸術学専攻に博士課程(後期課程)を開設。
1997(平成9)年 4月	文学研究科社会学専攻と総合政策科学研究科総合政策学専攻に博士課程(後期課程)を開設。昼夜開講制を実施。
1998(平成10)年 4月	文学研究科新聞学専攻に博士課程(後期課程)を開設。工学研究科に知識工学専攻修士課程,および数理環境科学専攻修士課程を開設。セメスター制度を実施。
1999(平成11)年 4月	留学生別科を設置。
2000(平成12)年 4月	工学研究科知識工学専攻に博士課程(後期課程)を開設。
2001(平成13)年 4月	文学研究科教育学専攻に博士課程(後期課程)を開設。
終わり	

### 3 同志社の格言

- 「良心を全身に充滿したる丈夫（ますらお）<sup>13</sup>の起り来らん事を」  
同志社から良心に満ち溢れた人物が輩出されることを望んだ言葉。これは新島が東京から同志社普通学校5年生の横田安止に宛てて書いた手紙の一節。現在、キャンパスの正門を入ったところにこの言葉が刻まれた「良心碑」がある。



Fig. 18 今出川校地の良心碑



Fig. 19 京田辺校地の良心碑

- “ My Life is My Message ”( 私の生涯が私の遺言です)  
新島とともに英学校開校当初から同志社を支えた J.D. デイヴィスの言葉。現在デイヴィス記念館のロビーに刻まれている (Fig. 20)。



Fig. 20 デイヴィス記念館ロビーに刻まれたデイヴィスの言葉

- “ SEEK THROUGH YOUR VOCATION TO SERVE GOD AND HUMANITY ”( 天職による神と人類への献身)  
理化学館の正面玄関上に刻まれている J.N. ハリスの言葉 (Fig. 21)。



Fig. 21 ハリス理化学館の正面に刻まれたハリスの言葉

### 4 キリスト教の教派

#### 4.1 カトリック教会 (Roman Catholic Church)

キリスト教の教会で、東方正教会、プロテスタント諸教会と区別して、ローマ教皇を頭(かしら)とするローマ・カトリック教会をさす。カトリックとは、「普遍的」「公同的」「一般的」という意味のことばで、自らをそうであると信じているキリスト教会が、全人類のための唯一の救いの機関であることを表す表現である。全世界キリスト教徒約 19 億 7400 万人のうち、約 10 億 4400 万人の信徒を有する最大の教会である(2000 年)。日本のカトリック教会は 1549(天文 18)年フランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸したときに始まった。1876(明治 9)年日本カトリック教会は南緯、北緯の二つの代牧区に分けられたが、2000 年現在では、北海道(札幌教区)から沖縄(那覇教区)まで 16 の教区に分かれている。これら教区の長である司教は、日本カトリック司教協議会(宗教法人カトリック中央協議会)を形成している。1998 年現在、日本の信徒数は約 46 万人。

#### 4.2 プロテスタント教会 (Protestant Church)

16 世紀のルターやカルビンによる宗教改革の流れをくむキリスト教会。ローマ・カトリック教会、東方正教会とともにキリスト教の三大教派の 1 つ。直接には 1529 年シュパイエルで開かれた神聖ローマ帝国議会(シュパイエル国会)において、皇帝カール 5 世の名の下に宗教改革運動が否認されたとき、皇帝に反対して「抗議」(Protestation, ドイツ語)した人々の教会をさす。以後「福音<sup>14</sup>的」ということばとともに、カトリック教会に反対する改革賛成派の総称になった。しかし、450 年以上も経過した今日では、事情も変わったので、各派を見渡した統一ある特色を述べることは、ほとんど不可能なほどである。だが、あえて定義すれば、聖書の福音に根

<sup>14</sup>もとは一般的により知らせを意味した。新約聖書における「使徒言行録」以降では主イエス・キリストの受肉・死・復活のできごとにおいて罪の贖いが成就され、キリストを信じる者において、神との永遠の交わりが回復されたことが福音として語られている。

<sup>13</sup>立派な男。勇気のある強い男。

ざしつづ不斷にその実現を目ざすことが、その特色といえよう。

同志社はこのプロテスタント教会に属する。

#### 4.3 東方正教会 (Eastern Orthodox Church)

カトリック教会、プロテスタント諸教会と並ぶキリスト教三大教派の一つ。日本ではギリシア正教または単に正教ともいう。広義の東方教会は、のちに中国へ入り景教とよばれるようになるネストリウス教会や、キリスト単性論とみなされるアルメニア教会、エジプトのコプト教会、エチオピア教会など、キリスト教の異端グループを含む。しかし、東方正教会という場合は狭義の東方教会、すなわち、中東、東欧、ロシアを中心とする18の自立教会の連合体をいう。わが国では東方正教会は、他の二大教派のカトリック教会、プロテスタント諸教会と比べて一般になじみが薄い。だが、東方正教会は元来、古代教会の伝統を受け継いで、原始キリスト教の精神をよく伝え、15世紀半ば以降、ロシアが東方正教の大国となった。

### 5 学校法人同志社

同志社は、1875(明治8)年、新島襄によって創立された我が国有数のキリスト教主義の学園である。創立当時の生徒数はわずか8名だったが、いまは同志社大学、同志社女子大学のほか、4つの高等学校、4つの中学校と1つの幼稚園を含む大きい総合学園となり、学生生徒の数は3万5千名、専任教職員は1500名を超えている。また25万名をこえる卒業生は現在、経済・政治・宗教・教育・社会事業など多彩な方面にわたって社会のために活動している。

(注：2001年4月のデータのため現在変更あり)

#### 5.1 法人部

総長 大谷 實



Fig. 22 大谷 實 総長

理事長 野本 真也  
 法人事務部長 稲野 昂央  
 総務部長 原 郁雄



Fig. 23 野本 真也 理事長

財務部長 幸 亀 一 夫  
 施設部長 白 水 勝  
 企画部長 落 合 仁 司

#### 5.2 大学

大学長 八 田 英 二



Fig. 24 八田 英二 学長

神学部長 森 孝 一  
 文学部長 岡 市 廣 成  
 法学部長 田 井 義 信  
 経済学部長 横 山 照 樹  
 商学部長 山 根 学  
 工学部長 千 田 衛  
 アメリカ研究科長 釜 田 泰 介  
 総合政策科学研究科長 新 川 達 郎  
 言語文化教育研究センター所長 幅 健 志  
 キリスト教文化センター所長 鈴 木 直 人  
 学生部長 森 田 章  
 教務部長 吉 田 謙 二  
 入試センター所長 河 合 宣 孝  
 アドミッションズ オフィス所長 河 合 宣 孝  
 国際センター所長 小 泉 孝 之  
 留学生別科長 小 泉 孝 之  
 企画部長 落 合 仁 司  
 総合情報センター所長 瀧 田 輝 己  
 人文科学研究科長 田 端 信 廣

アメリカ研究所長  
 理工学研究所長  
 歴史資料館長  
 厚生館保健センター所長  
 総務部長・経理責任者  
 財務部長  
 施設部長  
 就職部長  
 京田辺校地総務部長

山内 信幸  
 藤本 元  
 岡市 廣成  
 松田 正文  
 原 郁雄  
 幸亀 一夫  
 白水 勝  
 神谷 雄績  
 川口 博

### 5.3 女子大学

学長

森田 潤司



Fig. 25 森田 潤司 学長

学芸学部長  
 現代社会学部長  
 生活科学部長  
 宗教部長  
 教務部長  
 学生部長  
 企画部長  
 図書・情報センター所長  
 総合文化研究所長  
 国際交流センター所長  
 総務部長  
 経理部長

寺川 眞知夫  
 近藤 十郎  
 西野 幸典  
 中村 信博  
 加賀 裕郎  
 枝澤 康代  
 中村 利男  
 加藤 敦  
 福田 京一  
 B・S U S S E R  
 小坂 賢一郎  
 森下 直明

### 5.4 高等学校・中学校・幼稚園

(高等学校) 校長  
 (中学校) 校長  
 (香里中学校・高等学校) 校長  
 (女子中学校・高等学校) 校長  
 (国際中学校・高等学校) 校長  
 (幼稚園) 園長

瀬尾 赫子  
 丹沢 登志郎  
 生井 武世  
 松本 健二  
 柴田 潔  
 杉野 徹

関係団体：同志社校友会・同志社同窓会

### 5.5 新島学園

新島は、1947年にゆかりの地である群馬県安中市(上州安中藩士の子として生まれた)に新島学園中学校・高等学校を設立。その後、1983年に新島学園女子短期大学を設立。

### 5.6 同志社東京アカデミー

同志社大学では、幅広い教育・研究活動の展開を図り、その成果を広く社会に公開することに努めている。社会人をはじめ誰でも受講できる「同志社大学東京講座」は、この一環として実施している。東京講座は同志社大学の教育・研究成果の公開を、関西地区だけでなく全国規模で展開しようというものである。講座のテーマは、生涯学習への関心・ニーズの高まり、高度化・複雑化する社会において人々の関心が多様な領域へ広がっていることなどを考え、現代のトピカルなものと、キリスト教や同志社の歴史を主題としたものを組み合わせているのが特徴。

所在地：渋谷・公園通り 東京山手教会横の通路入  
 JR 渋谷駅・地下鉄半蔵門線渋谷駅から徒歩 5 分

## 6 同志社の今

### 6.1 今出川キャンパス

同志社大学が創立された翌 1876 年 9 月、御所の北側、相国寺門前に木造 2 階建ての校舎 2 棟、食堂 1 棟を建てた。これが今出川キャンパスの始まりである。キャンパス内のチャペル、彰栄館、有終館、ハリス理化学館、クラーク記念館は国の重要文化財に指定されている明治の建造物で、その後に建設された、大正、昭和初期の学舎や近年建てられた鉄筋コンクリートの校舎は、これらの煉瓦建築との調和が考慮されている。

今出川キャンパスには、300m ほど西に新町キャンパスがあり、また烏丸通りに面して課外活動、福利厚生の場である学生会館が建っている。

総面積は約 81,000 。

現在は、文科系学部の 3、4 年次生と夜間主コースの学生、文科系大学院生を合わせて約 10,000 人が学生生活を営んでいる。

所在地：〒 602 - 8580

京都上京区今出川通烏丸東入玄武町 601

#### ● クラーク記念館

今出川キャンパスのランドマークともいえる印象的な尖塔を持つドイツ復古様式の建造物。この建物はニューヨーク州のクラーク夫妻より寄付されたもので、現在国の重要文化財に指定されている。1894 年(明治 27 年)の開館当時はクラーク神学館と呼ばれ、神学教育・研究のセンターとなっていた。

#### ● アーモスト館

国際交流の先駆けであったアーモスト・同志社プロジェクトの第 1 回学生代表であったニコルズの母親やアーモスト大学の卒業生から寄付されたニューイングランド・ジョージアン様式の建物。1932 年(昭和 7 年)竣工で、学生寮として使用されている。



- 有終館

1887年（明治20年）に、書籍館として竣工したもので、当時としては日本最大の学校図書館であった。1922年（大正11年）、時の総長であった海老名弾正が、図書館としての役割を終えたこの建物を「有終館」と命名。現在は総長室、理事長室、学長室に使われている。国の重要文化財。

- 彰栄館

アメリカン・ゴシック様式の瓦葺き煉瓦造。京都市内に現存する煉瓦建築の中では最古のもの。アメリカン・ボードの寄付を受けて、同志社教員の宣教師 D.C. グリーンが設計したもので 1884年（明治17年）に竣工。国の重要文化財。

- ハリス理化学館

科学教育をめざした新島襄の情熱に応えた J.N. ハリスの厚意により、ハリス理化学校の校舎として建築された。1889年（明治22年）の定礎、イギリス積みの煉瓦建築で国の重要文化財。現在も入試課、広報課、Neesima Room、卒業生ラウンジとして使われている。

- チャペル（礼拝堂）

アメリカン・ボードの寄付によって建築されたアメリカン・ゴシック様式の鉄板葺き煉瓦造。D.C. グリーンが設計し、1886年（明治19年）に竣工。日本におけるプロテスタント派の煉瓦造の礼拝堂としては現存する最古のもの。国の重要文化財に指定されている。

- 尹東桂詩碑

尹東桂（ユン・ドンジュ）はコリアの民族詩人であり、キリスト教詩人である。同志社大学文学部に在学中の1943年7月14日、ハンブルで詩を書いたことを理由に独立運動の疑いで逮捕された。裁判の結果、治安維持法違反で懲役刑を宣告され、福岡刑務所に投獄され、1945年2月16日に獄死した。この詩碑は、永眠50周年の記念日（1995年2月16日）に同志社校友会コリアクラブにより建立された。

## 6.2 京田辺キャンパス

京田辺キャンパスは、伝統に培われた風格のある今出川キャンパスの継承と、自然環境の保全に留意して1986年に開校され、現在、文科系学部の1,2年次生と、工学部・大学院工学研究科全学生の約12,000人の学生が学んでいる。

東西1,200m、南北800mの敷地は、総面積79万（隣接の同志社女子大・国際中高を含めると100万）であ

る。東西の真ん中がややくびれた地形で、南に向かって緩やかに傾斜した丘陵である。学内に点在する古代古墳遺跡は文化財として保存されている。

校地は、東側の教育・研究・福利厚生施設ゾーンと、西側の体育施設ゾーンに大別できる。

正門を入ると、東西130m、南北110mの前庭が広がり、正面にラーネッド記念図書館が構える。その西に特別教室等や食堂をはじめとする福利厚生施設など。それら全学年が共通に使用する施設群を中央軸に、その南には事務管理棟・教室棟・学生の文化活動のためのボックス棟など、また北には研究棟・工学部棟群・キリスト教文化センターなどが配置されている。

校地の西半分には、41種目ものスポーツが可能な33の充実した体育施設が集中的に整備・配置されている。すなわち総合体育館や体育研究室棟を軸に、南には合宿棟・ボックス棟やテニスコート、北には硬式野球場やゴルフ練習場が配置され、西端は陸上競技場を中心にした各種グラウンド群が広がる。

所在地：〒610 - 0394

京田辺市多々羅都谷1 - 3

- 新島記念講堂（礼拝堂）

全同志社共用の礼拝堂として女子大校地内に建てられている。尖塔が美しい建物で、多目的に使える設備を整え、1988年9月に竣工した。

- ラーネッド記念図書館

第2代学長をつとめた D.W. ラーネッドを記念する図書館。玄関正面には、彼の愛誦句“ Learn to Live and Live to Learn ”（生きるために学ぼう、そして学ぶために生きよう）が刻まれている。

- 理化学館

今出川キャンパスにあるハリス理化学館の理念を継いだ施設で玄関正面上には J.N. ハリスの言葉“ SEEK THROUGH YOUR VOCATION TO SERVE GOD AND HUMANITY ”（天職による神と人類への奉仕）が刻まれている。

- デイヴィス記念館

新島襄の片腕となって同志社英学校の設立に貢献した J.D. デイヴィスを記念した総合体育館兼講堂。正面ロビーには、デイヴィスの言葉“ My life is my message ”（私の生涯が私の遺言です）が掲げられている。

### 6.3 工学部

#### 6.3.1 工学部の歴史・沿革

新島襄は、自然科学に強い関心を抱き、1870(明治3)年米国アーモスト大学を卒業して、日本人で最初の理学士(Bachelor of Science)の称号を得た。新島は私立総合大学を作るべく、その1学部として理学部の設立を構想していた。米国人ハリスからの寄付金により、1890(明治23)年に日本で初めての私立高等科学教育機関である同志社ハリス理化学校が設立された。ハリス理化学校の運営には、後に住友化学工業(株)や大阪ガス(株)設立に貢献した下村孝太郎があたった。その後、財政上の理由によりやむなく廃校になったが、1944(昭和19)年に同志社工業専門学校として同志社の理工学教育は復活した。1949(昭和24)年新制大学発足とともに同志社大学工学部として、電気学科、機械学科、工業化学科の3学科が設置された。1954(昭和29)年には、勤労学生のために工学部第2部(電気学科、機械学科、工業化学科)が設置され、さらに1955(昭和30)年には、大学院工学研究科修士課程(電気工学専攻、機械工学専攻、工業化学専攻)を設置、1957(昭和32)年および1959(昭和34)年に大学院工学研究科博士課程(電気工学専攻、機械工学専攻、工業化学専攻)が設けられた。1963(昭和38)年電子工学科、機械工学第二学科、化学工学科の3学科の増設と同時に、工学部第2部が廃止された。1975(昭和50)年大学院の修士課程、博士課程をそれぞれ博士課程(前期課程)、同(後期課程)と改制。

1994(平成6)年、工学部の長年の夢であった田辺キャンパスへの統合移転が実現し、この機会に教育・研究のさらなる充実を図るため、学科の新設と再編がなされ、知識工学科、電気工学科、電子工学科、機械システム工学科、エネルギー機械工学科、機能分子工学科、物質化学工学科の7学科編成となった。1998(平成10)年には、大学院に新たに知識工学専攻(修士課程)、数理環境科学専攻(修士課程)を加え、工学研究科は5専攻となり、一層の飛躍をとげようとしている。

同志社ハリス理化学校以来約110年の長い歴史を誇る同志社大学工学部は、約3万人におよぶ卒業生を世界に送りだし、新島襄より受け継がれた理工学の情熱を21世紀に向かって継承しようとしている。

#### 6.4 データで見る同志社

学部学生数 23,054 人(男 15,239 人/女 7,815 人)

大学院生数 2,083 人(男 1,486 人/女 597 人)

教員数 1,347 人(専任教員 463 人/嘱託講師 884 人)

(2002年4月30日現在)

Table 2 工学部全学科の入学年別人数

入学年度	男	女	総数
2002	839	108	947
2001	825	83	908
2000	900	98	998
1999	824	97	921
1998	324	12	336
1997	82	2	84
1996	37	1	38
1995	14	1	15
1994	4	0	4
計	3849	402	4251

Table 3 学部知識工学科の入学年別人数

入学年度	男	女	総数
2002	84	18	102
2001	107	21	128
2000	103	17	120
1999	82	17	99
1998	24	1	25
1997	5	0	5
1996	2	0	0
計	409	74	481

Table 4 博士課程前期課程知識工学科の入学年別人数

入学年度	男	女	総数
2002	33	3	36
2001	37	2	39
2000	1	0	1
計	71	5	76

Table 5 博士課程後期課程知識工学科の入学年別人数

入学年度	男	女	総数
2002	1	0	1
2001	3	0	3
2000	3	0	3
計	7	0	7

## 6.5 同志社のOBを知る

### 6.5.1 政治家

土井 たか子【社民党党首】(大学院・法学科)  
末広 真季子【参院議員・タレント】(文学部)

### 6.5.2 スポーツ界

平尾 誠二【ラグビー】(商学部)  
杉浦 正則【シドニー五輪野球日本代表】(商学部)  
奥野 史子【シンクロ】(商学部)  
土佐ノ海【力士, 本名: 山本 敏生】(商学部)  
朝原 宣治【アトランタ五輪陸上 100m 準決勝進出】  
(商学部)  
大八木 淳史【ラグビー】(商学部)  
宮本 恒靖【サッカー, ガンバ大阪 DF】(経済学部)  
小島 伸幸【サッカー, アビスパ福岡 GK】(?)  
片岡 篤史【プロ野球, 阪神タイガース】(商学部)  
宮本 慎也【プロ野球, ヤクルトスワローズ】(?)  
田尾安志【野球評論家】(文学部)

### 6.5.3 芸能界

二谷 英明【俳優】(文学部)  
田村 高廣【俳優】(?)  
生瀬 勝久【俳優】(?)  
みや なおこ【女優】(?)  
清水 圭【タレント】(商学部)  
和泉 修【タレント】(?)  
たくや【ミュージシャン, Hysteria Blue】(文学部・  
社会学科)  
筒井 康隆【小説家】(文学部)  
中丸 明【作家】(?)  
みれいゆ【女優】(経済学部)  
岡林 信康【フォーク歌手】(中退)

### 6.5.4 その他

林 裕章【吉本興業株式会社元社長】(商学部)  
木村 政雄【吉本興業株式会社社長】(文学部・社会  
学科)  
小池 聡行【元オリコン社長】(文学部・社会学科)  
千 宗室【茶道裏千家今日庵 15 代家元】(法学部)  
若林 亮介【赤軍派】(?)  
佐藤 優【外交史料館課長補佐, 鈴木宗男側近】(大  
学院・神学部)

Table 6 工学部年表

西暦	事 柄
1870年	新島襄，米国アーモスト大学卒業．日本人初の理学士（Bachelor of Science）の称号を取得．
1890年	同志社ハリス理化学学校設立 同志社ハリス理化学学校廃校
1944年	同志社工業専門学校設立
1949年	同志社工学部設置（電気学科，機械学科，工業化学科）
1954年	工学部第2部設置（電気学科，機械学科，工業化学科）
1955年	大学院工業研究科修士課程設置（電気工学専攻，機械工学専攻，工業化学専攻）
1957年	大学院工業研究科博士課程設置（電気工学専攻，機械工学専攻，工業化学専攻）
1959年	
1963年	電子工学科，機械工学第2学科，化学工学科増設 工学部第2部廃止
1968年	三木光範教授，同志社大学工学部入学
1975年	大学院の修士課程 博士課程（前期課程），博士課程 博士課程（後期課程）に改制
1994年	田辺キャンパスへ統合移転 知識工学科，電気工学科，電子工学科，機械システム工学科，エネルギー機械工学科， 機能分子工学科，物質化学工学科の7学科編成 三木光範教授，知識工学科教授就任 1期生入学
1995年	2期生（谷村さん，渡邊さん）入学
1996年	3期生（近藤さん）入学
1997年	4期生入学
1998年	大学院に知識工学専攻（修士課程），数理環境化学専攻（修士課程）設立 1期生大学院入学 5期生入学
1999年	2期生（谷村さん，渡邊さん）大学院入学 6期生入学
2000年	3期生（近藤さん）大学院入学
2001年	4期生大学院入学
2002年	5期生大学院入学

## 6.6 知識工学科

現在知識工学科には，現在7つの研究室がある．

Table 7 知識工学科の研究室

研究室	担当者
知識情報処理研究室	河岡 司（教授），渡部 広一（助教授）
知的システムデザイン研究室	三木光範（教授），廣安 知之（専任講師）
情報システム学研究室	三森 定道（教授），芳賀 博英（助教授）
知的機構研究室	柳田 益造（教授），坂東 敏博（助教授）
数理モデル研究室	川崎 廣吉（教授），岡崎 龍太郎（専任講師）
情報数理工学研究室	渡辺 陽一郎（教授），原田 等（専任講師）
知覚・認知機構研究室	力丸 裕（教授）



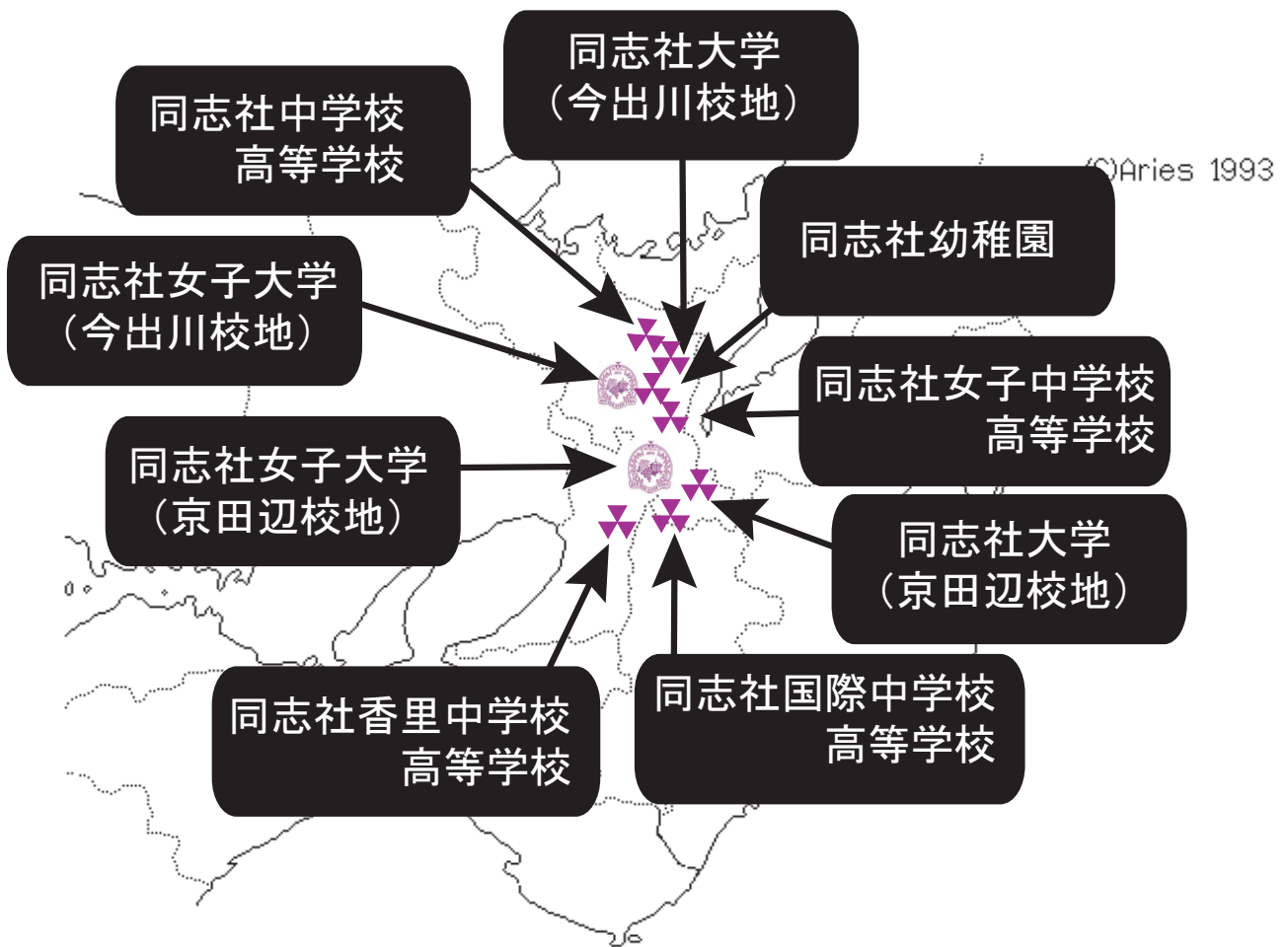


Fig. 26 学校所在地 (近畿)



Fig. 27 学校所在地 (関東)





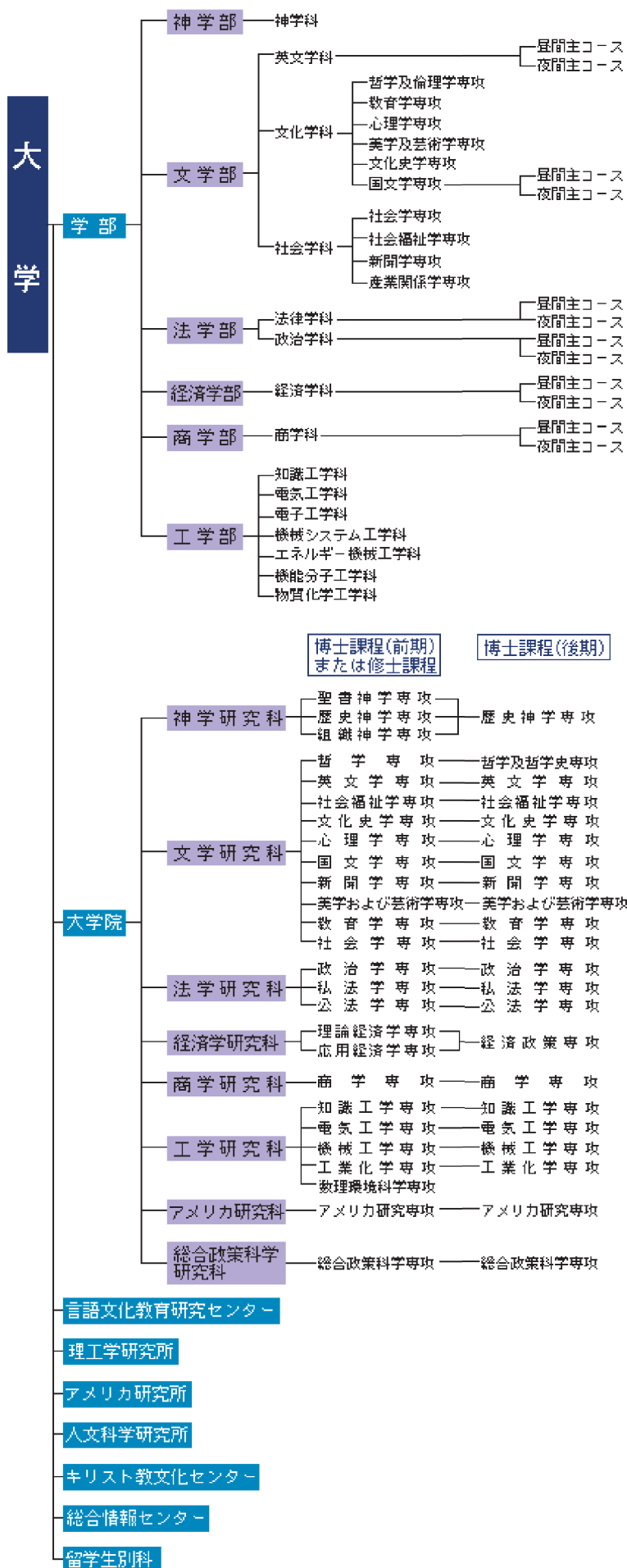


Fig. 30 大学組織図



大 学

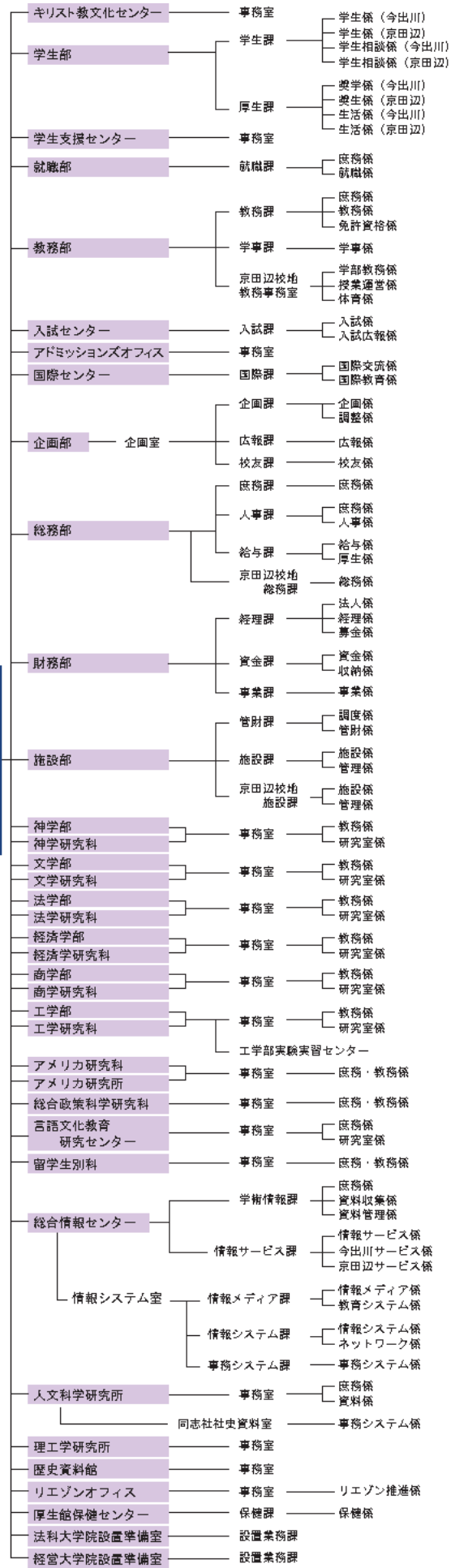


Fig. 31 事務組織図

## 7 戦前の大学～大学の誕生

### 7.1 東京大学の誕生

明治維新後、新政府は世界の大勢に即応する近代国家の建設を目指して、欧米先進諸国の近代思想や科学技術を果敢に取り入れようとした。新政府は、このような近代化の一環として高等教育制度を創設し拡充、整備をはかったのである。大学は、その中でも最高学府とされた。そして、新しい時代に即応する指導的人材の養成と、当時急務とされた欧米の学術・文化を摂取するための中心的機関として位置づけられたのである。1872(明治5)年の「学制」公布当時は、主として、西洋の学問や外国語を学ぶための多様な水準の専門諸学校が存在するのみであった。しかし、1877(明治10)年、これらの学校の一つである東京医学校と東京開成学校をあわせて「東京大学」が創設された(Table 8 参照)。我が国最初の近代的大学である。

Table 8 「東京大学」創設までの系譜

1868(明治1)年	開成学校	医学校
1869(明治2)年	大学南校	大学東校
1871(明治4)年	南校	東校
1872(明治5)年	第一大学区第一番中学	第一大学区医学校
1873(明治6)年	第一大学区開成学校	東京医学校
1874(明治7)年	東京開成学校	
1877(明治10)年	東京大学	

### 7.2 帝国大学の誕生

当時は、司法省や工部省、開拓使、農商務省などの現業官庁は、それぞれ独自の学校を持っていた。法学校、工部大学校、札幌農学校、駒場農学校などである。省庁付属学校の乱立は、各省が早急に自前で人材を育成しなければならなかったことによる。

緊急の人材養成の需要が一段落してくると、政府は、専門職業教育の域を越えた、新しい、総合的な、国家の威信を象徴する「大学」を必要とする。

明治初期には、近代国家の基礎づくりとして、工部省出身の技術官僚が力を持っていた。しかし、近代科学技術導入の先導的役割を終え、また折からの財政難によって縮小傾向に向かうと、彼らと入れ替わるように法科系の行政官僚があらわれる。

すでに1881(明治14)年の政変以来、国会開設に向けて、法律知識を備えた官僚(行政官僚)養成が急務であった。対外的にも、条約改正の条件としての裁判官(司法官僚)養成が急務であり、法学部の強化という路線が明確になった時期でもあった。

新しい大学は、行政官僚をはじめとしたエリート養成機関であり、西欧の大学に肩を並べる研究機関としての「国家の大学」でなければならなかった。

1886(明治19)年、政府は「帝国大学令」を発し、司法省の法学校や工部省の工部大学校などを東京大学に吸収した。法・医・工・文・理の5分科大学を持つ総合大学「帝国大学」の誕生である。

当時政府は、1885(明治18)年に内閣制度を創設し、近代国家としての体制を整えつつあった。1890(明治23)年の帝国議会の開設も控えていた。帝国大学令は、この一環として小学校令とともに公布されたものであり、我が国近代学校制度の基礎を確立するものであった。

帝国大学令の大きな特徴は、大学の目的を「国家ノ須要ニ応スル学術技芸ヲ教授シ及其蘊奥ヲ攷究スル」こととしたことである。

あまりにも有名な一文であるが、要するに、国家のための大学であるということである。東京の大学ではない、「帝国の大学」なのである。

このとき模範にしたのはドイツの大学であった。そこから学んだのは「制度」ではなく、大学と国家の関係についての「理念」だけであったともいわれる。帝国大学は、ドイツの官僚制度を取り入れつつ、日本独自の大学となっていく。

1897(明治30)年、日本で2番目の帝国大学「京都帝国大学」が開設される。

帝国大学は、まさに日本唯一の大学であったから、その特権的、独占的地位のあり方には疑問がもたれた。帝国大学は「東京帝国大学」と改称され、日本の帝国大学から東の帝国大学と位置することになった。京都帝国大学は、先発大学である東京帝国大学のライバルたることを期待されつつ、あるいは宿命づけられて登場した。

さらに明治40年代には、仙台(東北帝国大学)、福岡(九州帝国大学)に、大正年間には北海道(北海道帝国大学)に、昭和に入ってからは大阪(大阪帝国大学)、名古屋(名古屋帝国大学)にもそれぞれ帝国大学が開設された。

これらの帝国大学は、我が国の学術の中心として、高等教育機関の中核的地位を占めた。

### 7.3 帝国大学以外の大学の誕生

明治初年の我が国には、外国語、宗教、政治経済関係の私立学校、医学関係の公私立学校など、各種の専門諸学校が教育活動をおこなっていた。学校制度が法的に確立する以前、日本の大学の前身は、すべて専門学校だったともいうことができる。東京帝国大学も例外ではない。

政府は、1903(明治36)年に専門学校令を公布し、はじめて専門学校を制度化した。

しかし、専門学校は種類が多様であり、専門学校の性格については、「高等ノ学術技芸ヲ教授スル学校ハ専門学校」と規定しただけであった。そのため、私立の専門学校の中には、大学の名称をとるものが多数見られるようになった。

当時、専門学校は大学と制度上明確に区分され、私立大学の設立は制度上認められていなかった。そこで文部省は、同年、1年半程度の予科を持つ専門学校に対しては「大学」という名称をつけることを正式に許可することとした。

慶應義塾 (Fig. 32), 早稲田 (Fig. 33), 同志社 (Fig. 34), 東京法学院など、有力な私立の専門学校がこの措置によって次々に「大学」と改称した。



Fig. 32 福沢諭吉



Fig. 33 大隈重信



Fig. 34 新島 襄

1918 (大正7) 年には大学令が公布され、公私立及び単科の大学の設置も認められるようになった。これは、国公私を通じた大学制度の確立を示唆しており、帝国大学令にもとづく大学制度を一新するものであった。

国立では東京商科大学 (一橋), 新潟, 岡山の医科大学, 東京工業大学など, 公立では大阪医科大学, 愛知医科大学, 京都府立医科大学など, 私立では慶應義塾大学, 早稲田大学をはじめ, 明治, 中央, 日本, 国学院, 同志社などの大学が次々に設置された。この大学令による大学制度は、戦後の教育改革まで続く。

## 8 新島襄と大隈重信

1882年創立の早稲田大学の前身、東京専門学校は、創立時から同志社英学校出身の教師を数多くうけいれていた。大西祝 (坪内逍遙と並んで文学科草創期に偉大な役割を果たす) を筆頭として、後年早稲田の礎を築いた安部磯雄 (早大野球部の父), 浮田和民 (社会学的政治学の見地から早稲田政治学の源流を形成), 阿部賢一 (早稲田大学第八代総長) らが同志社英学校出身である。

その一方で、同志社が大学設立に向けて運動をはじめた1888年には、当時外相だった大隈重信が多額の寄付を行った。

このように、同志社と早稲田は開校当時から親交があった。今日もこの親交は続いており、同志社と早稲田は国内交換留学などを行っている。

## 9 関関同立

### 9.1 関西学院

1886年、アメリカ南メソジスト監督教会のW・R・ランバースが来日し、牧師や伝道者の養成とキリスト教主義に基づく総合学園の設立を企図し1889年に神戸の郊外原田村に関西学院を設立した。現在、神戸三田キャンパスを設け、19人から出発した学院であったが、現在では約19000人余りの学生・生徒が学んでいる。

### 9.2 関西大学

1886年「関西法律学校」として大阪市西区の願宗寺に開講。法学者ボアソナード博士の薫陶を受けた司法官井上操、小倉久、堀田正忠らが設立した。1903年に西区江戸堀に2階建て校舎を新築し17年間の寺子屋が終わる。経済学科の設立に併せて1905年に「私立関西大学」と改称した。現在、千里にキャンパスを移し、約27000人の学生が学ぶ。

### 9.3 立命館大学

1900年、京都市上京区に夜学校「京都法政学校」として創設。翌年、御所と鴨川にはさまれた寺町広小路に本校舎が完成した。学生の増加や施設の老朽化で、65年から北区・衣笠キャンパスに移転が始まり81年には広小路から姿を消した。現在、8学部約3万人が学ぶ。

## 参考文献

- 1) 県内活躍した女性達-新島八重,  
<http://www.f-miraikan.or.jp/index4/4-2-2-name3.htm>
- 2) 山本 覚馬, <http://www.enju.co.jp/meiji-f8.htm>

- 3) ONE PURPOSE No108 P28 同志社 QUIZ ,  
<http://www.doshisha.ac.jp/daigaku/onepur/no108/p28.html>
- 4) 小崎弘道 ,  
[http://www6.plala.or.jp/guti/cemetery/PERSON/K/kozaki\\_h.html](http://www6.plala.or.jp/guti/cemetery/PERSON/K/kozaki_h.html)
- 5) 宗教 , <http://anny.kinjo-u.ac.jp/~nakata/Nakata/Data/Tsusin/Christia/Christ.htm>
- 6) 新島遺品庫資料の公開【部分公開】新島襄ショートストーリー ,  
<http://joseph.doshisha.ac.jp/ihinko/bubun/column/main.html>
- 7) Lycos デイクシヨナリ - 百科事典 (ポケット版) ,  
<http://dic.lycos.co.jp/ecp/>
- 8) クラーク記念館 : ホーム ,  
<http://www.doshisha.ac.jp/daigaku/clarke/index.html>
- 9) 滋賀のプロフィール 人物編 ,  
<http://www.pref.shiga.jp/profile/jinbutsu/voris.htm>
- 10) 安中藩 ,  
<http://www.asahi-net.or.jp/~me4k-skri/han/kantou/annaka.html>
- 11) 岡本清一, 新島襄, 青山社, 2002 .
- 12) 白地図 <http://hp.vector.co.jp/authors/VA003652/wtizuK/wtizuk.html>
- 13) 東進大学輩出 OB リスト <http://www.toshin.ac.jp/news/ob/>
- 14) 学校法人同志社 <http://www.doshisha.ed.jp/>
- 15) 同志社大学 <http://www.doshisha.ac.jp/>